

令和 6 年度 柏市健康福祉審議会民生委員審査専門分科会会議録

1 開催日時

令和 7 年 1 月 2 7 日（月曜日）午後 2 時から午後 4 時まで

2 開催場所

ラコルタ柏 2 階 講座室

3 出席者

(1) 委員（計 6 名）

阿部委員（会長）、村上委員（副会長）、五十嵐委員、岩田委員、北山委員、山名委員

(2) 事務局（計 5 名）

谷口福祉部長、虻川福祉政策課長、石田福祉政策課副主幹、中山福祉政策課副主幹

4 議題

(1) 民生委員の委嘱状況について

(2) 現状の課題と今後の取組について

5 議事（要旨）

議題（1）民生委員の委嘱状況について及び（2）現状の課題と今後の取組について事務局より説明を行った。

委員からの質問及び主な意見は次のとおり。

・（阿部会長）民生委員の推薦母体は町会・自治会・区になっており、一斉改選で各町会は候補者探しの問題を抱えている。

・（岩田委員）学校現場にいて感じるのは、民生委員は子供達が話しかけやすい方、雰囲気の良い方が向いていると思う。

・（山名委員）40代50代は忙しく、働く方も多くなっている。今後もこの状況は続くと思うので、働きながら民生委員活動がしやすい環境づくりも考える必要がある。

ITの導入も良いが、民生委員同士で対面で話し合うことも大切だと考えている。民生委員がひとりで悩まないように話し合い、仕事で欠席する場合も班で助け合うようにしている。

地域の協力もあつての民生委員活動なので、今後も支援をお願いしたい。

・（北山委員）高齢者は困った時に情報にたどり着くことが難しい。身近に相談できる民生委員がいることは今後も重要になってくると思う。

・（五十嵐委員）柏市ひとり親福祉会では父子・母子・寡婦の相談を受け

ているが、自ら相談に来てくれる方は少ない。イベントを企画して会場でお話を伺う工夫をしている。

・（村上副会長）健康づくり推進員も担いて不足で欠員が多い。地域の親子会も解散している現状もあり町会長が候補者を見つけることが難しく、推進員が探して推薦してもらうことが多い。民生委員も同様の状況かと思う。

協力員制度については個人情報の問題もあり賛否があると思うので、もう少し良い負担軽減策があると良い。

ホームページでの民生委員募集は良いと思うが、口コミで伝えることが一番効果がある。情報にたどり着く事が難しいかたもいるので紙での掲示もした方が良い。

・（阿部会長）民生委員制度はいつできたのか。

・（事務局）民生委員制度は大正6年に始まり平成29年に100周年を迎えた。岡山県の済世顧問制度、翌年の大阪府で始まった方面委員制度が始まりとなっている。

・（阿部会長）大正の制度が今の時代に合っているのかという制度上の問題もある。

高齢化も進み民生委員に期待される役割は大きいですが、推薦を依頼される町会等の会長は1年で交代するところが4割あり、町会加入率も62～3%の状況。定員を埋められず欠員地区を補う民生委員にも負担が出ている。推薦母体を広げることを考える時期に来ているのではないかな。

市から依頼される委員や地域活動の多くを65歳から75歳までの世代が担っている。現役世代に参加してもらうためには、活動できる時間帯での会議開催など環境づくりも必要。

民生委員の活動を知るためにも、推薦母体である町会等には年1回でもいいので活動報告をして欲しい。

・（山名委員）民生委員が地域の町会長や役員の方とコミュニケーションを取ることは非常に大切。ぜひお話をさせていただきたい。

・（岩田委員）学校もPTA組織のなり手がいない状況だが、自身の学校では役員は楽しそうだと思ってもらえる取り組みをしたところ、引き受けてくれる方が増えた。民生委員もやると良いことがあるという何かがあると良いのではないかな。

・（山名委員）民生委員は地域のかたとのふれあいや感謝の言葉を言われることがやりがいと喜びになっている。

・（岩田委員）現在引き受けられない方にも将来的にやっていただけないかお願いしておくのも良いのではないかな。

・（阿部会長）高齢者でも活躍している人は多いので、年齢要件を緩和してはどうか。

・（事務局）若干は緩和していて以前は74歳までだったが、現在は再任や経験者については77歳まで委嘱できるようになっている。

・（村上委員）健康づくり推進員は若い方に種を撒いておくことも大事だ

と考えている。民生委員も保育園や小中学校にポスターを掲示して記憶に残してもらっただけでも違ってくると思う。

・（阿部会長）フルタイムで仕事をするかたが多い時代で地域活動のあり方も検討していく必要がある。

推薦母体については広げることを検討してもらいたい。

6 次回開催予定
未定

以上